

日本防災士会京都府支部創立10周年記念事業企画(案)

提案者 田上雅一(舞鶴)

1. 企画テーマ 防災カフェの運営について考える

～防災の取り組みに興味を持つ伝え方とは～

2. 企画内容

防災にあまり関心のない地域住民の方にどのような伝え方をすれば関心を持ってもらえるか、防災カフェを舞台に、運営する立場と市民の立場になって、運営者役の防災士から「私ならこのように伝える」という方法を学ぶことにより、各々の防災士スキル向上につなげることができるのではないかと考える。

防災カフェの想定は、参加者は防災にあまり関心を持つことができていない市民対象とし、防災の取り組みに関心を持つきっかけ作りを目的とする。

- ・支部会員を、地域別でグループ分けする。
- ・1グループ10名程度。
- ・同会場で運営者希望が多い場合は、2回開催もあり。

3. 企画理由

① 行政からみた防災の取り組みの主流は、命を守る取り組みとして「タイムライン避難行動」について、自治会や自主防災組織の代表者に対して研修を進めている。しかし、この研修を受けた方々が地域へ持ち帰って研修内容を伝達することができているだろうか疑問に感じている。地域住民の防災意識が高まっていないと、なかなか受け入れられないのが現状ではないかと考える。防災活動の地域基盤を強化する取り組みとして、防災活動に関心を持ってもらいやすい取り組みが必要ではないか。

② 防災士の受講者は年々増加傾向にあるが、どのような活動をすればいいのかわからない方も多いと推察している。周りの人に防災の取り組みの重要性を伝えていきたいが、具体的にどうすればいいかわからないままで、防災士の資格だけ持っている方も多いのではないでしょうか。そして、防災士の受講支援に取り組んでいる自治体もあるが、アフターフォローはできていないところが多い。防災士同士のコミュニケーションがとれる取り組みが必要だと考える。

4. 企画のねらい

京都府支部の会員も年々増えてきたが、防災イベントで一緒にならないとなかなか交流が持てていない。この企画により、同じ地域同士の防災士の交流を図ることができる。また、どんな取り組みをしていいか迷っている防災士にとっては何かをするきっかけとなるのではないかと考えている。

5. 備考(余談ですが)

個人的には、京都府支部発足時に、森本副会長が提唱されていた「防災バーベキュー」は、京都府支部の特徴としてもっとアピールしてもいいのではないかと思います。

防災カフェの中で、防災バーベキューを定着化する取り組みが、地域で広がれば、必ず共助に結びくと考えています。